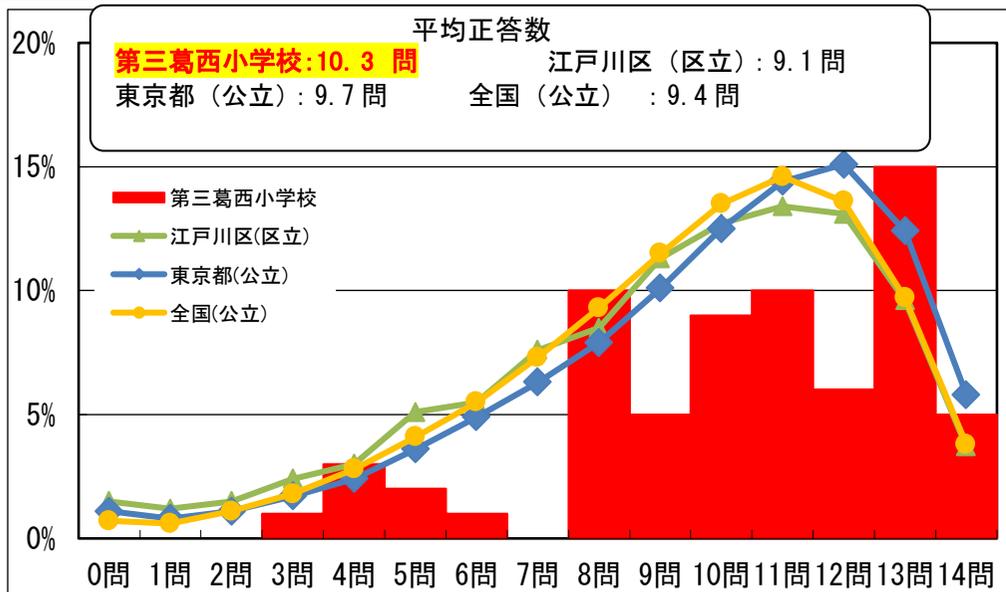


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 第三葛西小学校

## 正答数分布



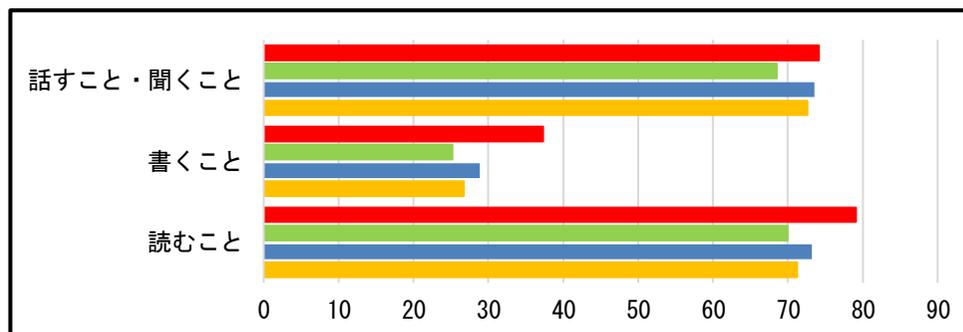
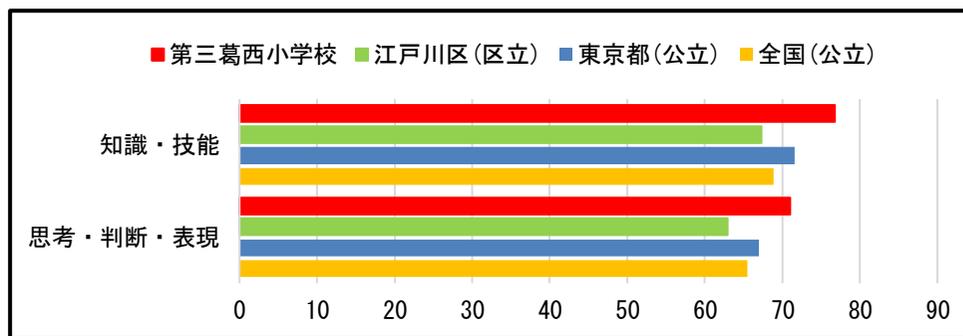
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
第三葛西小学校	38.8	28.4	22.4	10.4
江戸川区 (区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都 (公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国 (公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

第三葛西小学校	74%
江戸川区 (区立)	65%
東京都 (公立)	69%
全国 (公立)	67.2%
都との差	+5ポイント

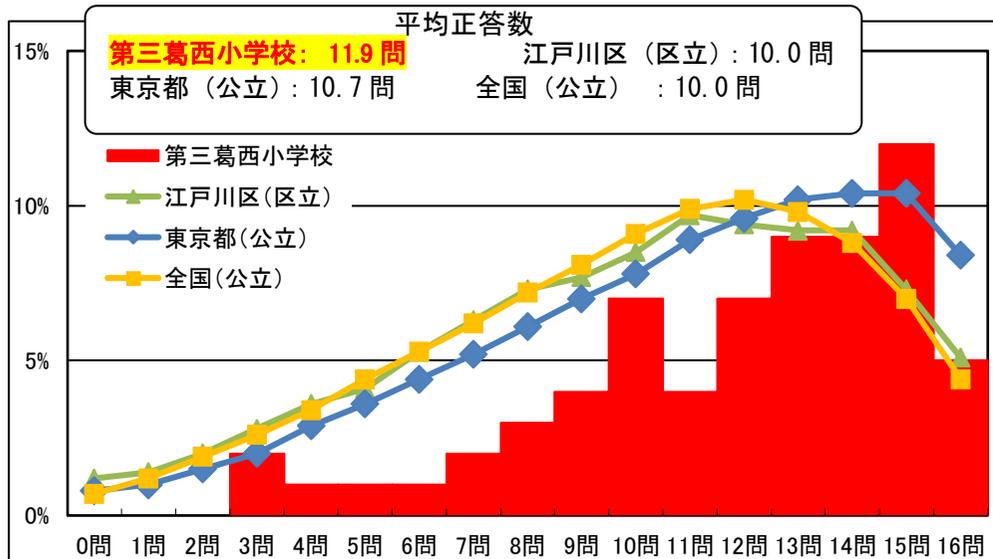
%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

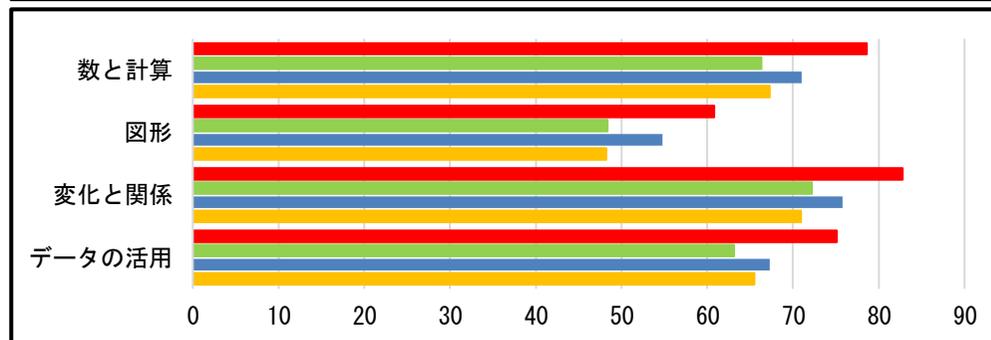
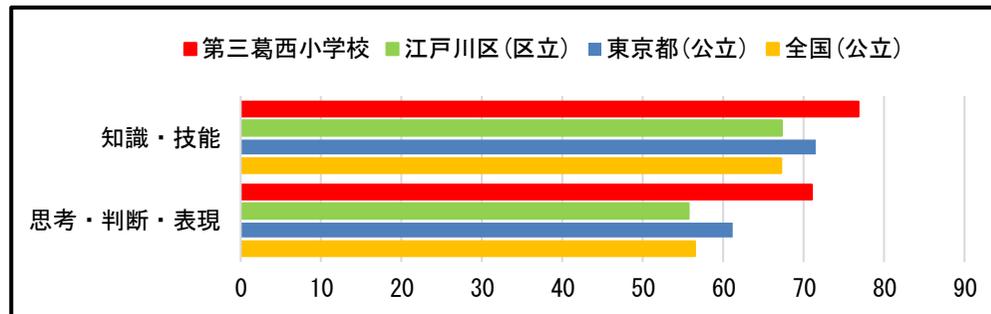
- 平均正答率で、昨年度は都を2ポイント下回ったが、今年度は5ポイント上回った。D層の割合が少なくなっていることが大きな要因である。
- 本校の課題としていた記述式問題で、昨年度は都を6.2ポイント下回ったが、今年度は5.3ポイント上回った。
- 領域別では「書くこと」が都を8.4ポイントと大きく上回った。
- 主体的に読むこと、聞くことを意識させ、それに対する自分の考えを表現する方法や場を多く示していく。
- 日常的な取組の、話型を活用して説明する力を育てていること、スピーチ活動を通して話す内容を整理する力や表現力を高めていることを今後も継続していく。

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 第三葛西小学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
<b>第三葛西小学校</b>	<b>38.8</b>	<b>29.9</b>	<b>20.9</b>	<b>10.4</b>
江戸川区 (区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都 (公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国 (公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

## 【平均正答率の差】

<b>第三葛西小学校</b>	<b>74%</b>
江戸川区 (区立)	62%
東京都 (公立)	67%
全国 (公立)	62.5%
都との差	<b>+7ポイント</b>

## 【分析結果と授業改善に向けて】

- 平均正答率で昨年度は1ポイント、一昨年度は2ポイント都を下回っていたが、今年度は7ポイント上回った。
- 要因としては、C層・D層の割合が低くなっていることが大きく、昨年度まで課題としていた記述式問題での正答率が上がり、都を11ポイント上回ったことも大きい。
- 習熟度コース別で授業の流れの工夫すること、思考の過程を表したり、演算決定の根拠とするために数直線図をかく指導をしたりすること、既習事項を確かめ、「前の学習と違うところ」に学習を焦点化すること等を授業改善として実行しており、今後も継続していく。
- 授業で扱う問題の内容と数、家庭学習との関連についてさらに検討し、学習内容の定着をさらに進めていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。